



祝 初代「みやぎSDGsアンバサダー」認定！ 「わたしのSDGs活動宣言2022」Vol.3



みやぎSDGsファーム

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」の考え方を軸に、宮城県内の企業や個人が協力体制を築き、より豊かな地域づくりを目指す取り組みです。その推進役となる人材「みやぎSDGsアンバサダー」を育成するプログラム「みやぎSDGs(えすでーズーズー)塾」が、2021年11月から開講されています。

詳しくはこちらから



賛同企業
募集中!!

[申し込み・問い合わせ]
河北新報社営業局
TEL. 022-211-1318



2022年6月、有志・少人数の子どもたちと、半年間かけて「ミライ思考」

を育くむ取り組みをスタートします。0から1を生み出す体験をしてほしいという願いを込め、「ゼロワン」と名付けました。教室を飛び出し、河川・海洋ゴミ調査から始めますが、その後、子どもたちがどこに課題を感じ、何を調査し、誰に話を聞き、どう解決しようとするかは、子どもたちの主体性を最大限尊重します。(株)MSC様を始め、多くの協力・後援もいただいています。

地元みやぎでSDGsに取り組み人々を取材し、子どもたちに届けてともに考える「ミライ思考」。執筆時点も、夏に向け、み



リサイクル業界で仕事をしています。当社のリサイクルセンターにはまだ使える

る真新しい文具や家電、おもちゃなど「日用品の廃棄物が毎日運ばれてきます。それらは燃料として再資源化されますが、燃料として生産されたものではないのに、もったいないと感じています。

100円ショップで「まあ100円だし、買っちゃおう」。そんな軽い気持ちで商品を購入してしまうことがあります。実際には使わない物も…。最近ではメレンゲを作るキッチングッズを購入。ハンドミキサーを持っているものの、そもそもあまりメレンゲを作らないという理由から結局は使わずに処分してしまいました。他にも便利そ



目標11「住み続けられるまちづくりを」に向けて。災害に対する準備をしま

す。東日本大震災時、食料や物資の調達に苦勞をしました。店として、米、水、みで、ガスを確保し、当時はおにぎりを提供しました。今後は食料中心に備蓄していきます。私が住む丸森町耕野地区の飲料水は井戸水がほとんどです。停電時でも使える水道が多いので、水は確保しやすいのです。自家発電機設置済みのガソリンスタンドを活用し、災害時に燃料の供給をします。

目標12「つくる責任つかう責任」。フードロスを減らす取り組みを進めていきます。店内に産直コーナーがあり、産直の会員と消費者双方に働きかけ、フードロスを

つながる楽しさ分け合い隊

あすなろ学院 佐々木陵太さん

やぎSDGs FARMを通じて知り合った、南三陸町のYES工房の大森さん、佐久の佐藤さん、南三陸町観光協会の阿部さんたちと会話を重ねています。彼らと話をしていると、取材中であることを忘れてしまうほどワクワクが止まらなくなります。もっと知りたい。まさに学びの醍醐味。凄まじい充実感。この感覚を独り占めするのはあまりにもったいない。学んだことを生かし、自分の生きたい道を切り拓く「生きる力」は、いま、学習指導要領でも求められ、次々と入試問題にも出題されていますが、そこに大人も子どもも関係ないと感じています。さまざまな人々とつながりながら、ともに学び続けま



Reducer(リデューサー)になります！

SKホールディングス 須貝祐美さん

うという理由で購入し、結局は処分してしまったものがあります。仕事の現場でもったいないと感じている一方で、プライベートでは自分自身ももったいないを生み出してしまっています。不用品を買わないことが一番ですが、購入してしまったときの次の手段として、人と物をつなぐマッチングサービスやレンタルサービスが広がるのではないかと感じています。「Reduce」「Reuse」「Recycle」。まずは「Reduce」。不要なものを買わない「Reducer(リデューサー)」になります！



身近な丸森町から改善しよう

いなか道の駅やしまや 八島哲郎さん

減らしていきます。生産者には捨てる野菜を減らす働きかけをします。消費者にはフードロスになる前に購入を促します。目標15「陸の豊かさも守ろう」のために。農業を生業としていますので畑で作物を作り、植物が二酸化炭素を吸収し、酸素を放出する好循環を進めています。竹林の保全と柿の栽培を通じ、緑の面積を守ります。竹林の間伐材をチップ化し、竹林に敷くことにより、化学肥料の使用を減らします。

丸森町に暮らしながらできるSDGs。小さくて目立たなくとも、少しずつ進む事が私らしい。そんな取り組みを続けていきます。



おめでとうござります!!